



深三だより

No.237

平成 23 年 10 月

江東区立深川第三中学校

(江東区越中島3-7-1)

TEL (3641) 5948

発行人 校長 松本浩二

❖❖❖ 後期を迎えるに当たって ❖❖❖

校長 松本浩二

合い言葉「みどじゃあ」

秋の日は釣瓶落としと言われるように、あっという間に日が落ち、朝晩の涼しさが心地よい季節となって参りました。早いもので前期の終わりを迎え衣替えの季節ともなりました。10月11日からは、冬服での後期の授業の始まりです。

今年度、深川三中では学校生活におけるの心掛けとして「みどじゃあ」という合い言葉を作りました。これは、前年度末、生徒会が全校生徒に募集して寄せられた多くの作品の中から選ばれた言葉で、現2年生女子が考えてくれたものです。

その意味は、深川三中の緑のジャージにちなみだもので、次の5つのことを表しています。

- み → 身だしなみを正す
- ど → 努力する
- じ → 時間を守る
- や → 約束を守る
- あ → 挨拶を心掛ける

文武両道を目指す深川三中生にとっては、いずれも学校生活の中では誰もが心掛けなければならない基本的なことで、大変素晴らしい合い言葉だと思います。1年の折り返しを迎えたこの時期、今一度自分たちの生活を振り返るとともに、この「みどじゃあ」を常に意識して生活してください。また、校内だけでなく、校外においても三中生であることの自覚を忘れずいて欲しいものです。

災害時に備える

東日本大震災から半年以上経ちましたが、被災地の復興の遅れや、福島第一原発事故の収束の目途も立たず、不安な日が続きます。また、先日は台風15号が首都圏を直撃し、緊急下校をいたしました。今後も、首都直下型の地震や東海沖地震など、何時、どんな災害が起こるかは予想できません。日頃の災害への備えが大切です。江東区では災害時の対応に備え、防災マニュアルが策定され、また学校でも日常の訓練を行っています。

そこで、3月11日の震災を踏まえ、本校では震度5弱以上の地震が発生した場合は、学校にて生徒の安全を確保し、保護者に引き渡しをすることとしています。先の3月11日当日は都内では1割を超える学校の児童生徒が帰宅困難となり、校舎等で夜を明かしたことがあったそうです。交通機関が不通になり、今後都教委も「保護者に早く引き渡せることを前提とした想定を見直すなど、学校での防災対策を強化したい」としています。

また、災害緊急時の連絡方法として、学校のホームページに携帯電話用緊急連絡情報(QRコード)を設けましたので、ご確認の上是非ご利用下さい。先日の台風15号の下校時刻の変更の際にも情報を流しました。



緊急連絡情報